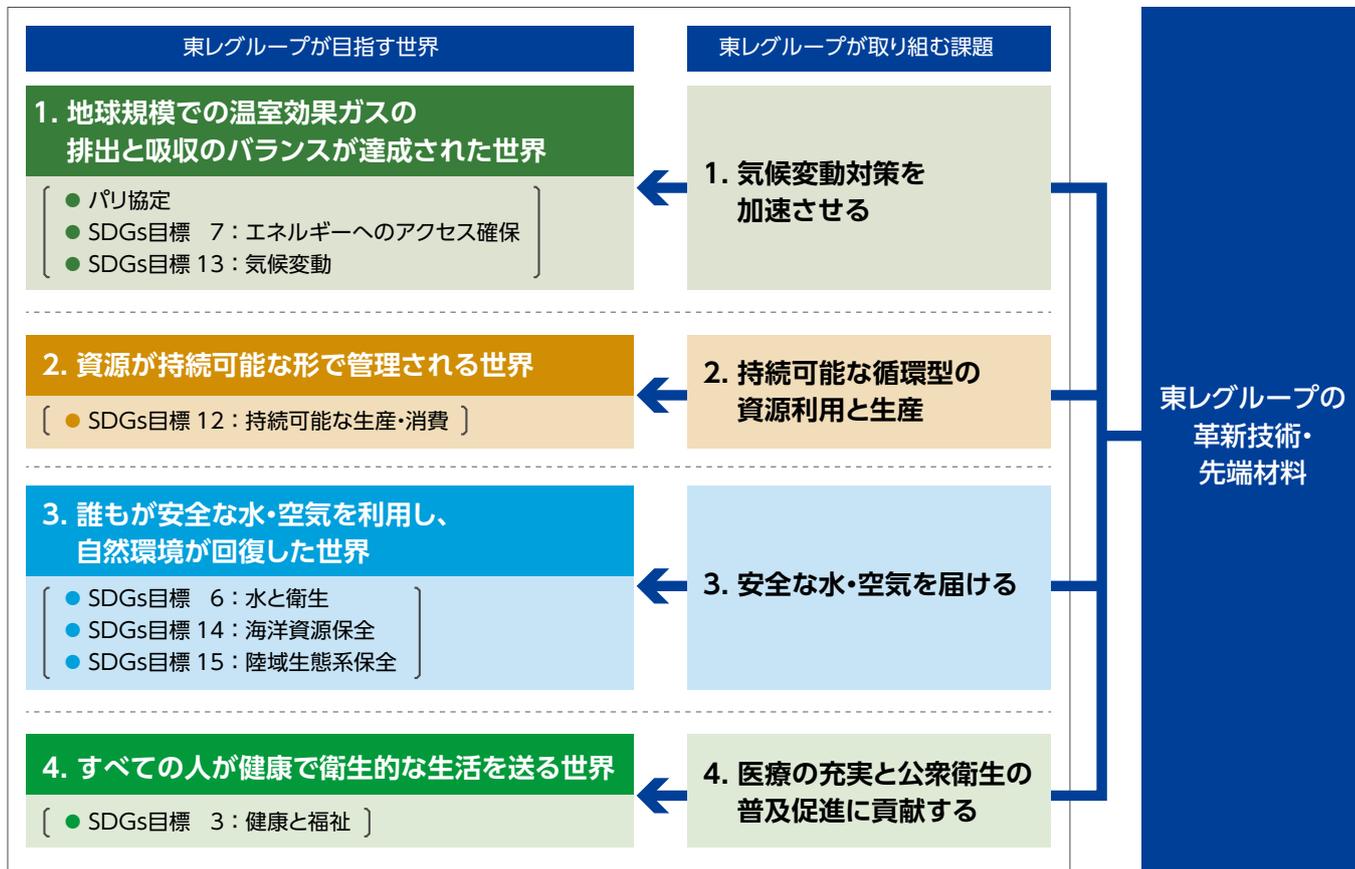


東レグループ サステナビリティ・ビジョン

サステナビリティ(持続可能性)は、21世紀の世界における最重要の共通課題だと考えています。

2050年に向け東レグループが目指す世界

東レグループは、以下に掲げる世界の実現を目指し、革新技術・先端材料を通じた4つの取り組みを進めます。



2030年度に向けた数値目標

以下の数値目標の達成を目指し、努力を続けていきます。^{※1}

- グリーンイノベーション製品(地球環境問題や資源・エネルギー問題の解決に貢献する製品)の供給を4倍に拡大
これにより、バリューチェーンへのCO₂削減貢献量を8倍に拡大^{※2}
- ライフイノベーション製品(公衆衛生・医療の質の向上、健康・長寿に貢献する製品)の供給を6倍に拡大
- 水処理膜により新たに創出される年間水処理量を3倍に拡大^{※3}
- 生産活動によるGHG排出量の売上高原単位を、再生可能エネルギーの導入等により、東レグループ全体で30%削減^{※4}
- 生産活動による水使用量の売上高原単位を、東レグループ全体で30%削減

※1 数値目標の基準年度は2013年度。

※2 バリューチェーンへのCO₂削減貢献量については、製品のバリューチェーンを通じたCO₂排出量削減効果を、日本化学工業協会、ICCA(国際化学工業協会協議会)及びWBCSD(持続可能な開発のための経済人会議)の化学セクターのガイドラインに従い、東レが独自に算出。

※3 各種水処理膜(RO/UF/MBR)毎の1日当たりの造水可能量に売上本数を乗じて算出。

※4 日本国内について、パリ協定を踏まえた日本政府目標の産業部門割当(絶対量マイナス7%)を超える削減に取り組む。また、世界各国における再生可能エネルギー等のゼロエミッション電源比率の上昇に合わせて、2030年度に同等以上のゼロエミッション電源導入を目指す。

当社においては、ケミカル分野、水処理分野、環境・エネルギー分野などの事業を通じて、東レグループの目指す世界像を実現するための課題解決に貢献します。